

安曇野市交流学習センター運営委員会 会議概要

- 1 協議会名.....平成26年度第2回安曇野市交流学習センター運営委員会
- 2 日 時.....平成26年 11月 18日 午前 10時 00分から 正午 まで
- 3 会 場.....安曇野市穂高交流学習センター“みらい” 多目的交流ホール
- 4 出席者.....神谷委員長、内田委員、望月委員、清水委員、鈴木委員
- 5 市側出席者.....(図書館交流課) 赤羽課長兼穂高交流学習センター所長、青柳豊科交流学習センター所長、小林課長補佐兼係長、財津係長、野中主事
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人.....1人.....記者.....0人.....
- 8 会議概要作成年月日.....平成26年 12月 1日

協 議 事 項 等

○会議の概要

1. 開 会 (赤羽図書館交流課長)
2. あいさつ (同上)
3. 協議・報告
 - (1) 平成26年度事業進捗状況について
 - (2) 平成27年度事業について
 - (3) 三郷交流学習センター(三郷図書館)、堀金図書館について
 - (4) 防犯カメラの設置について

○協議概要

- (1) 平成26年度事業進捗状況

財津係長、青柳豊科交流学習センター所長、小林課長補佐兼係長より進捗報告。

委員・・事業の進捗が順調であるのは結構だが、年間事業の中には、定員が何名で入場者数は何名という報告のものがある。ある程度定員に達すればその事業は成功したと思うが、そのような目標値がない事業は、何を尺度に達成度を計っているのか。最初の事業計画時に目的を定め、その達成度をどのようにして計るか決めて動けば、今後の事業の精査に役立つのではないかと。1つの提案として、申し上げる。

委員・・「安曇野ゆかりの文学展」について、小説だけでなく、エッセーや紀行文も視野に入れば、もっと様々な描かれ方をした安曇野を発見できたのではないかと。また、昔の安曇野を偲ばせるような写真と文章など、様々なものを組み合わせれば、展示の可能性はまだ広がるのではないかと。市制10周年を機会に、更に幅を広げた続編展示を企画していただきたい。

委員・・中央図書館の不明資料が167点、豊科図書館の不明資料が1点と非常に差がある。各図書館の蔵書数や利用者数といった条件の違いはあるが、この不明資料数の差はどこからきているのか。何か分かっていることがあれば、説明を。

事務局・中央図書館の方が非常に広く、死角も多い。安曇野市の図書館利用者は年間約38万人で、その内20万人超の方々に中央図書館を利用いただいているので、全てのところに目が届く状態を維持するのは難しい。昨年も盗難等があった際には、警察に盗難届を出している。ただ、近隣の松本市と塩尻市の図書館状況も調査したが、不明資料数167点が多いか少ないかというところもある。中央図書館は、セキュリティゲートにプラスして防犯カメラを今後設置することにより、それがどこまで抑止

力になるか、不明資料を減らすことができるかということだと思う。豊科図書館については、セキュリティゲートと館内2箇所を設置されている防犯カメラが一つの抑止効果になっていることが理解できる。中央図書館との一番の違いは、カウンターから館内全体が見渡せる状況になっていることだが、不明資料が1点のみというのは非常に少ない状況である。中央図書館においても、館内の巡回をはじめ、少しでも不明資料数を減らす努力を今後も継続していく。

委員・・167点の不明資料は、盗難防止のために設置してあるセキュリティゲートをくぐり抜けて館外に搬出されている。不明資料はどのようにしてセキュリティゲートをくぐり抜け、館外に持ち出されるのか。

事務局・貸し出し処理をせずに資料を持ち出すとセキュリティゲートが反応する仕組みのため、ICタグの部分をカッター等で切り取ったり、剥ぎとったりして持ち出される状況である。剥ぎとったICタグを書架の後ろに隠していくこともあれば、ブックコート全体を剥がして資料を持ち出すこともある。おそらく、トイレ等に資料を隠して持ち込み、そこでICタグを剥がしていると考えられる。警察に盗難届を提出した際にも、真っ先に防犯カメラはあるかという質問をいただく。防犯カメラを設置することにより、盗難等の抑止となる、あるいは現場の確認ができれば防止に繋がると考えている。

事務局・補足説明すると、中央図書館と豊科図書館の一番の違いは、やはり死角となる場所の数である。豊科図書館は、カウンターから館内全体を見渡すことができ、死角が少ない。また、防犯カメラが設置してあるので、防犯カメラが作動していることを利用者に周知している。それが一番抑止効果となっている。

また、中央でも豊科でもDVDの盗難が非常に多かった。そこで、現在豊科では、DVDのケースだけ外に出し、中の原版はカウンターで預かり、貸出の際にカウンターにて原版を出す仕組みに変更した。ただ、豊科の場合はDVD蔵書数が少ないためにこの管理法ができるのであり、中央は相当の蔵書数なので難しいと感じている。この2点が2館の違いである。

委員・・ICタグとセキュリティゲートについてだが、鞆の中に金属を入れれば、ゲートを反応させずに、貸し出し処理をしていない資料でも館外に持ち出されてしまうケースはあると思うが。

事務局・ご指摘いただいたように、金属を用いて、ICタグ内のICチップをゲートで読み取れない様にするには確かにありうる。そのため、たとえば図書館内ではかごや鞆の持ち込みを制限している場所も実際にはある。透明な鞆をこちらで用意して、館内ではそれを利用してもらうといった対策を考えられないことはないが、館外にロッカーを設置する必要がでてくる。スペース的にも費用的にも難しい。

委員・・防犯カメラの設置について、もしカメラで不正の瞬間を見つけたとしても、おそらく図書館には捜査権がないと思う。その対応はどうするのか。何かを見つけた時にどのような対策をとるのかを考えておかないと、後々大きな問題に繋がる。1つの提案として、考えておいてほしい。

委員・・防犯カメラはあくまで抑止のためにつけることは理解できた。ただ、たとえば、大活字の資料等をカメラの近くで見ている場合に、その人がどんなものを読んでいるのがモニター越しに見えてしまうことがないように配慮したカメラの設置を望む。

(2) 平成 27 年度事業について

小林課長補佐、財津係長より説明。

委員・・あづみの新進音楽家公開オーディションという事業を説明いただいたが、今までと若干内容が変わってきている。これまでのレベルの高い演奏会とは異なり、参加型、ジュニアまで参加の枠を広げるとなると、会の趣旨に沿わなくなるのではないか。安曇野で活躍したい若手演奏家を発掘して、またこのような施設やホールでコンサートができるようにと、審査員の先生方から直接意見をいただける場を提供し

てその方の今後の演奏活動に繋げてもらうことがこの会の特色だったはずだが、その辺りの事情はどうなるのか。ジュニアまで参加者枠を広げるのは、大勢の方に機会を与える面ではよいが、会のレベルがある意味では下がってくるのではないか。ジュニアはまた別の機会に、たとえば“きぼう”等で開催するといった考え方もあると思うが。

事務局・ご指摘のとおり、今までは非常にレベルの高い方々に出場いただいている。ただ、申込者数が盛り上がりがない中で、このまま継続すると、最終的には演奏会を開催できるだけのものが組めなくなるという危惧があった。申込者数を拡大したいため、松本広域あるいは年齢制限の条件緩和を図った。チャレンジの場として出来る限り制限を加えたくないため、音源審査を入れるか否か等のことも議論中で、まだ結論が出ていないが、今回の様な門戸を開いた状態では、少なくとも今までの演奏会の形態は取れないと判断して公開オーディションを検討している。ただ、評価が高かった方にクリスマスコンサートや他のコンサートへの出演依頼を掛けていくことは引き続き行いたい。

委員・・申込者はどの程度減少しているのか。年齢制限を外すこととジュニアを含めることは違う。応募者を増やすにしても、まずは広域にすることからやってみるのも手ではないか。私を含め来場者が演奏会を楽しみにしているのは、レベルが高いから楽しみにしているのであり、誰でも出てきて誰でも見てというのはいかななものか。今後しっかりと検討していただきたい。

委員・・いくつか提案したい。方言展について、大変よい企画だと思う。ただ、方言は実際に話を聞く等、見るだけでなく聞くことが大きな要素だと思う。実際に方言の寸劇を行っている人や、近所の人を含む方言を使う方とも協力して企画展を計画していただきたい。くわえて、信州大学と連携して行うとの話だが、歴史と文化の点から安曇野を考えるとといったような大きなテーマで連続講座ないし講演会を、古代の安曇野から中世、近世、少なくとも明治期頃までを扱う企画を考えていただきたい。安曇野検定も人気が出てきているが、クイズ形式では結局テストと同じである。大きな流れの中で、安曇野について考えることができる企画を考えてもらいたい。

委員長・以前、「古代の安曇野」と題し、2ヶ月間で5回にわたり“きぼう”の学習室にて講座が開かれていた。私も出席したが、30人から50人の予定人数のところ、200人近くがつかけて大変な盛況だった。歴史を着眼点の1つとして、更に安曇野を盛り上げてもらいたい。

(3) 三郷交流学習センター、堀金図書館について

(4) 防犯カメラの設置について (穂高交流学習センター)

財津係長より説明。質問等は特になし。

委員長・今後の会議は、もう少し時間に余裕をつけて開催していただきたい。

委員・・これだけ多くの議題があり、特に防犯カメラの件について聞きたい方は多いと思う。ぜひ更なる会議時間の確保を願う。

以上